

ご意見と事務局の考え

意見13（平成15年12月受付）

（長岡市出身）

新長岡市は地域自治など周辺市町村へ配慮しているものの、対等合併でないことから現長岡市主導（お山の大将）と思えてなりません。多くの周辺市町村の方はそう感じているでしょう。合併予定の周辺市町村または現長岡市の周辺部も含め、各地域に権限や職員を分散し本庁の機能を軽くすることが必要と思います。長岡市以外の市町村は旧市町村名を捨てるだけで相当の妥協をしています。見附市や小千谷市が合併を見送った気持ちも分かります。名実ともに「吸収」にならない取り組みが現在以上に不可欠と思います。

事務局の考え

任意合併協議会での協議の結果、合併の方式は「編入合併」に、合併後の新市の名称は「長岡市」に決定されましたが、この決定は、当ホームページに掲載されています協議会の会議録をご覧いただければ分かる通り、長岡市一市の主導で決定されたものではなく、協議会構成市町村で議論を重ねた結果です。

特に、「合併の方式」の議論では「編入合併に決定されたとしても、地域自治という観点から、合併後も旧市町村で独自の施策として必要なものが予算の執行権をつけて残せるならば、合併による住民の不安や懸念は解消されるだろう」という多くの委員の意見がありました。そのうえでの編入合併であれば、事実上、精神は対等合併と同じであるということで協議会で決定されました。

合併後の本庁と支所の機能については、任意合併協議会では地域自治のあり方のなかで議論しており、長岡市以外の旧市町村単位に支所を設置して、通常の住民サービスのほかに、地域固有の業務を行う地域振興部門を置くこととしております。また、当該地域の施策やまちづくりについて地域住民の立場から検討し、行政に反映できるよう、住民の皆さんが主体の地域委員会（仮称）を設置することとしています。このように支所と住民の皆さんの連携により、住民の意向に沿ったまちづくりを実行していきます。

意見12（平成15年12月受付）

（小国町在住）

小国町は住民投票で長岡との合併を選択したものの小千谷市との生活面の結びつきも強く公共施設（図書館・体育施設）の利用も小千谷市に依存する面もあります。小千谷市も長岡地域南部の自治体として一緒に合併しまちづくりができれば幸いです。残念ながら当面は自立を選択するようです。ただ将来的に合併できるよう相当の権限を委譲することも含め小千谷市へ働きかけてほしいと思います。小千谷市のホームページの掲示板（みんなの掲示板）では長岡地域との合併を望んでいる声もあることが推測されます。（<http://www.city.ojiya.niigata.jp/>）また今後、小千谷市の公共施設が利用できなくなるようなことのないよう働きかけていただきたいと思います。

事務局の考え

おっしゃるとおり、従来から小千谷市と長岡地域の各市町村との結びつきは大変強いことから、森会長は長岡市長として40万都市構想を掲げ、小千谷市にも合併を呼びかけておりました。しかし今回、小千谷市では当面の間は自立していくことを選択されたようであり、そのことは大変残念に思います。しかし、中越地域全体の発展につながるまちづくりをしていくためには、長期的視点で、今後も合併を呼びかけていきたいと思えます。

また、図書館や体育施設などの公共施設の利用に関して、小千谷市を含む長岡地域広域市町村圏の13市町村では、以前から住民の方々が共同利用できることとなっており、今後もこれまでと同様に広域連携を図っていき、住民の方々が共同利用できるように、関係者で前向きに話し合っていきたいと思えます。

意見11（平成15年11月受付）

（長岡市在住）

中核都市への道が遠くなり、5万人の市も29万人の市も自治権としては、大差ありません。目標がなくなった今、高齢化率を上げるために合併するような気がしてなりません。行政効率の向上による人件費の削減も給与の低い他自治体職員の給与が長岡並になると割増しになり効果が感じられません。高齢化率と職員給与の増加について市民に数値を示し説明して合併についてアンケートをとったらいかがでしょうか？また、政令指定都市になり区役所制度による自治権をあたえられれば、合併しても良いとほとんどの自治体が考えています。柏崎刈羽を含め50万として政令指定都市を目指す以外に近隣市町村の協力は、得られないと思えます。17年の合併には、不可能にしても10年以内に政令指定都市を目指す合併を行うと宣言したほうが近隣市町村の協力が得られるのではないのでしょうか？

事務局の考え

見附市が任意合併協議会から離脱したことにより、合併しても中核市の要件を備えなくなりましたが、中越地域全体の発展のためには、合併により引き続き行財政基盤の強い自治体作りを行う必要があると考えております。

したがって平成17年3月という期限にこだわらず、引き続き小千谷市・川口町・三島郡等の地域はもちろん見附市にも呼びかけ、長期的な視点に立って、40万都市の実現を目指し努力していきます。

また、この地域では、交通・通信手段の発達や経済活動の広域化に伴って、現在の市町村の行政区域を越えて、長岡市を中心とした買回品購買、通勤・通学、外来通院など日常生活圏が一体化している状況があります。

合併により長岡市の高齢化率は上がるかも知れませんが、同じ日常生活圏での共存共栄の観点から、この地域が一体となって少子高齢化などの問題に取り組んでいく必要があります。

また新市職員間の給与ベースの調整については現在検討中ですが、基本的にはできるだけ財政負担にならないようにする方向で検討しています。

合併後の地域自治については、合併による新市の一体化を進める一方で、長岡方式の地域自治（長岡地域任意合併協議会報告書P7～8参照）を検討しており、合併後も地域住民の声を十分行政に反映させるとともに特色ある地域固有業務を引き続き旧市町

村単位で行えるようにすることとしております。

意見10（平成15年11月受付）

（栃尾市在住）

もう決まったことかもしれないけど、合併をやめて下さい！！私は栃尾が大好きで、栃尾という名が長岡のものになるのはイヤだし、かなしいです！！栃尾はいなかだし、なにもないけど、栃尾は自然がたくさんあって、栃尾の人しか知らないよさがあるんです！！わがままかもしれないし、合併しないのはムリかもしれないけど、考えなおしてくれるとうれしいです。返事はいりません。ホームページみるので、そこに何かかいて下さい。

事務局の考え

栃尾は自然がたくさんあって良いところだということはよく分かっています。水もおいしいですね。合併しても栃尾の良さを残すよう栃尾が変わらないよう栃尾のみなさんと話し合っていきます。「自分の故郷はそのまま変わらない方が良くから合併したくない」という意見をよく耳にしますが、合併しないで単独で行く場合、故郷をそのまま維持していくには大変な苦勞をとまなうこととなります。故郷を現状のまま維持するために合併するんだということを分かって下さい。

確かに合併すると周辺市町村の地域の伝統や文化が失われるのではないかと、合併後には中心部だけが良くなって、周辺部が取り残されてしまうのではないかと、市役所や役場が遠くなり、今よりも不便になるのではないかと、住民の声が行政に届きにくくなるのではないかと、という不安や懸念があります。

その不安や懸念を解消するため、協議会では、合併後も、地域住民のみなさんの声を十分行政に反映するため、旧市町村単位に支所を設置して、通常の住民サービスのほかに、地域固有の業務を行う地域振興部門を置くこととしております。また、地域の施策やまちづくりについて地域住民の立場から検討し、行政に反映させるために地域委員会を設置することとしています（長岡地域任意合併協議会報告書P7～8参照）。このように栃尾市の良さを残すためにも、どういう形で合併したらよいか今後とも真剣に議論していきますので安心して下さい。

意見9（平成15年11月受付）

（栃尾市在住）

見附市が離脱し中核市への移行が難しくなりましたが、人口・地理的条件から小千谷市をパートナーとして早急に合併の申し入れを行うべきと思います。「周辺市町村へも門戸を開いている」ではお山の大将との印象を与えかねません。長岡地域が頭を下げるくらいの姿勢が必要でしょう。小千谷市は小国町・山古志村・越路町との関係も深いため、小千谷市にとっても好条件と思います。勿論、吸収でなく第二の拠点とするくらいの施策が必要でしょう。

事務局の考え

「合併」は、より良いまちづくりを行うための目的ではなく手段であります。そして、これまでは合併直後に人口 30 万人を満たすため、「中核市」という、まちづくりの目標を掲げてきたわけです。「中核市」になるだけのために、合併の議論をしてきたわけではありません。ここが重要なところですよ。見附市が自立を選択したため、現時点では、中核市の要件を備えなくなりました。これは確かに残念です。しかし、既にこの地域では 13 市町村が広域行政を行っています。これはなぜでしょうか。共に行政を行った方がまちづくりに役立つと考えているからです。後は、各市町村が、それをさらに強力に推進する手段として「合併」を選択していくかどうかなのです。

長岡地域に小千谷市が加われば、30 万人という要件を備えることができますし、中越地域の発展のため 30 万にとどまらず 13 市町村で合併し 40 万都市の実現に努力していきます。

しかし、小千谷市がこれからのまちづくりに「合併」という手段を選択するかどうかは、長岡地域からの強い要請もさることながら、その決定に関わる小千谷市の市民、議会、首長など関係者の自主的な議論や行動が鍵であることは、是非、御理解いただきたいと思っております。

これから長岡地域は、合併により行財政基盤の強い自治体を作っていきます。そして、それが中越地域全体の発展につながっていく、この姿勢に変わりはありませんので、これからも御支援をお願いいたします。

意見 8 (平成 15 年 1 1 月受付)

(川口町在住)

長岡市長は小千谷市や川口町、三島郡も含めた 40 万都市を目指すと言っていました。その後の動きが分かりません。本当に望むのであれば長岡側から積極的に声を掛けて頂きたいと思っております。吸収合併であれば抵抗はあるものの「長岡方式」の分権型であれば前向きに考えると思っております。

新潟市と岩室村、三条市と田上町、上越市と中郷村などが県内で飛び地合併を目指しています。また、川口町は 3 年後には、人口が県内で最も少ない自治体になることへの不安も抱えています。川口町では小千谷市ではなく長岡地域と飛び地合併でも良いので合併を望む声が最近増えつつあります。

事務局の考え

第 2 回協議会の冒頭で、40 万人都市構想について、森会長が長岡市長として、平成 6 年から長岡地域広域行政組合として既に広域連携している長岡地域広域市町村圏の構成 13 市町村での合併を目指す考えを示し、小千谷市、川口町など 5 市町村に対して合併協議への参加を呼びかけたことを説明しました。そして、長岡地域任意合併協議会としては、今後これらの市町村から協議会参加の申し出があった場合、その時点であらためて協議することが確認されています。

その後、5 市町村から参加の申し出は受けておりませんので、40 万都市構想の協議はしていません。当初からの 8 市町村による協議が続いているわけです。したがって、

長岡地域の門は開いておりますが、叩くかどうかはあくまで各市町村の判断になりますから、50年に一度あるかどうかの大きな選択を、川口町の中でよく議論いただきたいと思います。

意見7（平成15年10月受付）

（越路町在住）

- 1．合併しないと、これから交付税その他が、少なくなり、いずれ何もできない町になり、税負担が多くなるだけの町になるので、今の時期に町民の希望が反映されるように、積極的に前向きに合併したほうがいい。
- 2．昨日、一部の町会議員連名で反対チラシが配布されたが、町民をまどわすだけの、内容がないチラシに、愕然とした。8月の選挙に言わず今になって、町民を浅く思わせることは、悲しい。こんな議員に町を任されないと思いました、やはり長岡に合併したほうがいいと決断しました。